

ほっこいーな通信

令和7年度修了式・交流会 開催しました

令和8年3月7日(土)、鳥取大学医学部記念講堂にて、在宅医療推進のための看護師育成プログラム修了証書授与式を挙行了しました。

Iコース2年次67名、実践コース5名、IIコース12名、IIIコース3名が修了されました。

式典では仁科室長から、修了生にはなむけのお言葉が贈られ、これまでの努力と今後活躍の期待が述べられました。

その後、各コース代表者に修了証書が手渡され、修了生代表として赤井 陸さん(Iコース2年次)が謝辞にてこれからも地域全体を支える看護・医療の発展に努力すると述べられました。



仁科室長より修了証書が
各コース代表に手渡される



交流会

修了式に続き、「T-HOC交流会」が開催されました。今年度の修了生や出向者、さらにこれまでのT-HOC受講経験者や受講生勤務先の担当責任者の方も一堂に会して、「これからおこなうわたしの看護プラスα」をテーマにT-HOCでの学びや展望を共有しました。

グループ内では所属や年齢も様々でしたが、活発な意見交換が行われ、実習内容についても深く共有されました。在宅支援のあり方について話し合ったり、先輩からアドバイスを受けたりしながら、自身の実践課題や「やりたい看護」を力強く発表する姿が見られました。



第6回T-HOC POCUSセミナーを開催しました

令和8年1月24日(土)、鳥取大学医学部記念講堂にて、同大学の杉原誉明先生を講師にお招きし、超音波エコーの使い方に関する講義・演習を開催しました。

当日は、病院や訪問看護ステーションの看護師、看護教員など計21名が参加され、お子様連れでのご参加もありました。

演習では、日常の看護ケアにエコーを導入されている日野病院の砂原久美子先生・田中恵先生よりご指導いただき、「可視化できる観察」と「リアルタイムなケア」について学びを深めました。在宅医療の現場でもエコー機器の活用が広がっており、看護教育の場においてもその重要性が高まっています。



お子様もエコー
に触ったよ

出向プログラム参加者修了しました

令和7年度は、3名が訪問看護ステーションでの研修を終え、3月末に出向元へ復職しました。今後は病院と地域の連携強化に力を発揮してほしいと思います。また、新たに訪問看護ステーションへ入職した方もおり、鳥取県の在宅医療・看護での活躍がますます期待されます。

令和8年度受講生募集のお知らせ

IコースからIIIコースの受講生を募集しています。

募集期間は**5月15日**まで!

おまち
しています!

募集要項および
詳細はHPからご
確認ください

令和8年度からIIIコースに
新コースできました!



訪問看護の現役の方も、ブランクのある方も、これから挑戦したい方も受講できます。最大5年間のサポートで、自分のペースで学びを深めてみませんか? 自信を持って「質の高い看護」を届けるための第一歩をここから! ぜひご受講ください。

ご質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡下さい